



おおみなみ

笑顔あふれる 大南

～自分もよく、相手もよく、みんなもよく～



令和 7 年度

練馬区立大泉南小学校

校長 田村 亜紀子

令和 7 年 10 月 31 日

TEL03-3922-1371

「 学習の成果を表現する 」

校長 田村 亜紀子

何をするにもよい季節となりました。「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」…。本校の今年の秋は「学びの秋」です。日々の学習で学んだことを発表する「学習発表会」の開催です。

「学習発表会」は、自分たちが学んだことを、みんなで発表します。1・2年生は、国語で学んだ物語教材を題材として、演じたり歌ったりします。その中で、学習で学んだ「物語を通して分かったこと・大事なこと」を考え、伝えようと工夫しています。3・4年生は、学習した内容そのものに迫る発表をします。特に、3年生は、様々な教科が増えた中でも、自分たちが楽しんでいることや頑張っていることとして、外国語活動とリコーダーを発表します。4年生は、総合的な学習の時間で中心に調べた「牧野博士」について、様々な視点からまとめました。生い立ちや研究について、また、調べた植物についてなど、自分たちで発表したい内容をまとめ、劇化したりクイズにしたりしています。5年生は、自分たちの成長を「挑戦」としてまとめ、日頃の授業の様子も含めた発表です。そして、6年生は、「宮沢賢治」。国語の学習で学んだ宮沢賢治の作品や世界観を、自分たちなりに深め、新たなメッセージとして伝えます。

どの学年も、教科等で学んだことを基盤にしています。日々の学習は、課題を見付け、友達と相談したり深め合ったりしながら、自分の知識や技能、さらには考え方も身に付けていきます。学校で進めている「主体的、対話的で深い学び」は、他者と対話をしながら、様々なことを自分の中に「インプット」していく学びです。実は、身に付けた力は「活用」しなければ、定着にはつながりません。その活用は、次の学習や他の時間、生活の中等、様々な活用場面が考えられます。そして、その「活用する」ということは、「アウトプット」することでもあります。「アウトプット」することで、身に付けたことが、自分のものとして生きて働く力になったと言えるのです。そして、この学習発表会では、一人一人のアウトプットから、学年全体へのアウトプットへと昇華していくのです。それぞれの学びが、学年の思いとしてまとめられ、その学年の舞台発表として表現されます。

さらには、互いの発表を見合うことで、新たな「インプット」になります。高学年は、一生懸命頑張る小さな学年の子供たちを、微笑ましく応援する姿もあるでしょう。低学年には、高学年の内容そのものは難しいかもしれないけれど、「大きくなったら、あんな風に堂々と発表したい。」という思いをもつかもしれません。様々な「インプット」が、一人一人の成長につながっていきます。

7日（金）は児童鑑賞日、8日（土）は保護者鑑賞日です。自分たちの成長を自分たちで実感するとともに、互いにその成長を認め合い、「みんなで楽しく 笑顔輝く学習発表会」として、「みんなの学び」を「学校の学び」につなげていきます。

この学習発表会への取組の中でも、子供たちは様々な力を身に付けます。「思いを伝える」「役割を果たす」「最後まで頑張る」「みんなで力を合わせる」「互いを思い合う」「よさを認める」「励まし合う」…。まだまだあります。また、一人一人、違いがあります。この経験を一過性のイベントとすることなく、ここで学んだことを自分なりに自覚し、今後の学校や日常生活にどのように生かしていくかが重要です。よく「行事で育つ」と言いますが、育った力を発揮する場は、やはりいつもの生活の中なのです。今後も、より充実した学校生活になるよう、指導を重ねてまいります。

11月は「ふれあい（いじめ防止強化）月間」です。

東京都では、毎年6月・11月・2月を「ふれあい（いじめ防止強化）月間」とし、子供たちが元気に学校に通学できるための様々な取組を行います。本校でも、アンケートを行ったり、学級などで話をしたりする中で、改めて本校の合い言葉「笑顔あふれる大南 ～自分もよく 相手もよく みんなもよく～」を、みんなで考えていきます。

11月の生活目標 元気よく運動しよう 言葉づかいに気をつけよう